

## 会 議 録

会議の名称	第3回坂祝町学校の将来のあり方検討委員会
開催日時	令和5年10月24日(火) 午後3時00分～午後4時45分
開催場所	坂祝町中央公民館 ホール
出席者	委員13名 事務局 5名
欠席者	委員 2名
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 教育長あいさつ</li> <li>3. 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小中一貫校の補足説明(古賀委員長)</li> <li>(2) グループ討議(視察の感想、坂祝町の教育の方向性など)</li> <li>(3) グループ意見の発表</li> <li>(4) 古賀委員長の所見</li> </ol> </li> <li>4. 事務連絡             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今後の予定</li> <li>(2) その他                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地視察について</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>5. 閉会</li> </ol>
会議の公開 又は非公開	公開
傍聴人数	5名
発言内容	別紙「議事の内容」のとおり
会議資料	第3回坂祝町学校の将来のあり方検討委員会会議日程 ・資料1 会議日程・委員名簿 ・資料2 会議席次 ・資料3 教育長プレゼン資料 ・資料4 濃南小・中学校プレゼン資料 ・資料5 第2回会議・グループ発表の意見
会議録の 作成方針	要点記録
その他の 必要事項	—
作成者	坂祝町教育委員会 教育課長 堀部芳章

■ 別紙

議事の内容（発言者、発言内容、審議経過、結論など）

1 開会（司会 古賀委員長）

2 教育長あいさつ（15：08～15：20）

3 議事

（1）小中一貫校の補足説明（15：20～15：35）

古賀委員長 プレゼンテーション

（2）グループ討議（15：40～16：20）

委員 （各グループに分かれて意見交換）

（3）グループ意見発表（16：20～16：35）

Cグループ ・町民が一体になる学校、卒業生や地域の方との交流が図れる場所。高校で寂しい思いをする子が戻れる場所。一般の人や不登校、高齢者などが集える場所になるといい。

・交流には価値があるので、小中学校は近くにあるといい。教育スタイルは後々考えるとして、まずは連携を図ること。

・図書館や多文化など、地域が一体になる場所。

・土地については、この辺り（中央公民館付近）がいい。

・どうせ建てるなら、小・中・子育て・多文化など集中拠点にしたい。

・いきなり一貫校・義務教育学校にするのではなく、様子を見てもいい。

・CSや地域の方も入れる拠点となる施設。もっと何年後かに方針、計画、財源などしっかり考えてから動く。子どもにどんな施設がいいか聞くのもいい。

・財源は避けて通れない問題だが大丈夫か？夢が膨らむとお金がかかる。坂祝の財源で大丈夫か？

Aグループ ・視察した濃南小中学校は建物がきれいで、希望がふくらむところだったが、坂祝町でとなるとイメージができない。

・地域の方との連携。

・坂祝では、一度に小中建設ではなく、順番でもできるのでは…。まずは中学校を下に下ろして小中連携して、何年後かに小を併設する。10年後というが、段階的にできないか。連携の仕組みは別々でもできることはできるのではないか。

・地域の住民の声も重要だが、これからの保護者（幼・保）の意見も聞く必要がある。コミュニケーションをとって進めてほしい。

・小中一貫校がいいが、公立校は先生が変わってしまうので、「坂祝の教育スタイル」をしっかり考えること。

・子どもの数、土地（面積）、周囲の環境、費用（財政）を気にかけていけない。

・子どもの安全が最優先。

・小・中学校の跡地問題も考える必要がある。

Bグループ ・義務教育学校に惹かれていたが、小中一貫校のメリットを多く感じた。

・濃南小中学校は、運動会に地域の人も参加するなど地域色が豊か。地域愛、郷土愛を感じた。

・（濃南小中学校のやり方は）少人数だからできたことかもしれないが、坂祝町でもやれないことはない。

- ・濃南小中学校もはじめからできていたわけではなく、スモールステップで上がっていった。
- ・メリットが多いなら小中一貫校がいい。
- ・地域の方は、「ふるさと坂祝」を大切にしたいと思っている。「心のつながり」を大切にしたい。
- ・校舎は併設、隣接すると良い。
- ・多文化共生、不登校、いじめ問題など情報が分断しないためにも9年間一緒に良いと思う。

#### (4) 古賀委員長の所見 (16:35~16:40)

古賀委員長 施設を建てるときには、将来またそれを建て替えるたり補修することは非常に財政効率が悪いため、先まで見通して学校を造らなければならぬ。一体型と言わないが、近くに小中学校があって、一貫校や義務教育学校を将来的につなげていける環境・状況を造って建てないと後には戻れない。まずは併設型が望ましいと思う。

大事なことはそこにプレミアを付ける。プレミアとは、地域の方々のつながりが、今よりさらにしやすくなる環境、地域の方が入って来やすい状況をつくること。連携をさらに密接にできる環境も考えていかなければと強く思う。

濃南小中学校の本多校長に「なぜ義務教育学校にしないのですか？」と質問したところ「まず小学校を統合することから始まり、校歌も一つになったのが平成の終わり。令和2年にやっと一貫校になったので、先に形が来ないよう“連携”を考えてじっくり取り組んでいきたい。心配なことは、運営協議会が小中で2つだったのが1つになると予算が減ってしまうのではないかということ。」と言われた。これは行政の財政的な部分になるので、そうした条件も考えていかなければならない。

いずれにしろ形から入るのではなく、子ども・地域を思っでじっくりじっくり段階的に方向性を考えていくことが大事。

場所はどこにするのかという問題については、例えばハザード上安全な場所、もう一つは子どもが通う時間や距離。それは次回までの事務局の宿題とする。通学時間・距離に関するデータを12月の委員会に提示してください。

12月は方向性を全員で話し合い、2月は答申案を検討してもらおう。

先ほど規模の話が出たが、濃南と坂祝の規模の違いがある。今度は義務教育学校を一度見てみるといい。坂祝と同じ程度の学校がどうやって取り組んでいるのかが見えてくると思う。

#### 4 事務連絡

##### (1) 今後の予定

教育課長 次回は12月19日、火曜日。時間は午後3時から。場所はこの会場。

##### (2) その他(先進地視察について)

教育課長 北方町立南学園への視察を計画した。別紙「先進地視察日程調整表」に記入し提出してほしい。

#### 5 閉会

委員長 (閉会あいさつ)